

# 重症児者のための「私の記録・ あんしんノート」の作成に携わつて

神奈川県重症心身障害児(者)を守る会 アドバイザー

兼任主任相談支援員／社会福祉士 渡部和哉

◎ トマホークの世界

「重心の最新情報を知りたければ、守る会のホームページを見るのが一番早い」

園保護者会会長の伊藤光子氏が就任した時は本当に驚きました。しかしそれと同時に、何かが劇的に動く予感がしていました。伊藤氏をよく知る者なら誰しも同じことを予感したはずです。

しかしそんな方々のなかでも、私は伊藤

私は現在勤めている相模原療育園の後輩職員には、いつもこのようなアドバイスを送っています。福祉のプロであり、重症心身障害児(者)施設に17年も勤めている身でありますながら、誠に恥ずかしい限りです。しかし守る会から発せられる情報は、とてもわかりやすく説明されていて、私自身すごく助かっており、全国重症心身障害児(者)を守る会のホームページは私の大のお気に入りで、いつも拝見しています。

ません。重度の障害を持つた子を育てながら、仕事も家事もバリバリこなして、人一倍二倍苦労してきた人生の猛者達です。そのバイタリティは人並み以上で、甘い環境で育ってきた私とは全く比較になりません。



あんしんノートの説明会

私が講師役で書き方説明会を開催した

信仰に近い存在かもしない。少なくとも相模原療育園の保護者会、神奈川の守る会ではそういう存在の方です。私は人生のピンチの時に何度も伊藤氏の言葉に助けられたことがあります。私はそんな方に出会えた

のは、人生最大級の喜びであり、この人についていきたいと自然に思うようになつていました。そういう意味で守る会との出会いは、伊藤氏との出会いであり、運命的なめぐりあわせでした。



### 神奈川支部のホームページ

インターネットで神奈川守る会で検索すると出てきます



### リーフレット

初めて役員会に出席した時は、心臓が破裂するほど緊張したのを今でもはつきり覚えてています。なにせ私にとつて重心の保護者たる伊藤氏が会長に就任してから、年3回の会報の発行、頻繁に行われる学習会、生活実態アンケート等、私は神奈川の素晴らしい取り組みをより多くの方に知つてもらいたい、情報を発信したいという思いで試作のホームページを役員会で見せた所、大変ご好評をいたしました。

だいてホームページ作成のオファーを受けました。私はこのようにホームページをきっかけに、皆さんと共に行動するようになつていつたのです。

### ◎初めて役員会に出席した感想

神奈川支部の役員会に初めて出席したのは2年前でした。きっかけは「ホームページならいつでも作れますよ」という些細な一言でした。私は日頃から神奈川の守る会

### ◎守る会の活動に携わったきっかけ

の活動の事を伊藤氏からよく聞いていました。しかしせつかく良い活動をしているのに、あまり知られていないというのがその当時の私の印象としてありました。（すみません）

あまり知られていないのは、情報の発信力に何か問題があるのではないか、情報の発信が弱いならば強くするためにはどうすれば良いか、色々考えた末、私はホームページの作成に行き着きました。伊藤氏が会長に就任してから、年3回の会報の発行、頻繁に行われる学習会、生活実態アンケート等、私は神奈川の素晴らしい取り組みをより多くの方に知つてもらいたい、情報を発信したいという思いで試作のホームページを役員会で見せた所、大変ご好評をいたしました。

な方が多いのだろうなど勝手に想像していましたが、実際に会つてみると気さくで優しい人達ばかりでした。役員会終了後、近くの中華料理屋で歓迎会を開いて下さり、すぐに溶け込むことが出来ましたが、その一方で役員会にいる方々は、お歳を召した方が多く、若い人の力が絶対に必要だと感じました。

◎あんしんノートの作成に着手

ホームページを担当してから守る会の事が段々とわかるようになっていきました。またホームページだけでなく、リーフレットの作成や相談サポート事業の立ち上げ、あんしんノートの作成にも携わり、皆さんからとても感謝されました。その中でもあんしんノートの作成は、過分なほどの称賛を受けたと思っています。

私も全く同感で、一見守る会の活動と現場の仕事は別動隊のように思えますが、巡りに巡つて利用者の笑顔に繋がっています。そして自分自身の良いキャリアにも繋がるのです。そしてあんしんノートの作成は、神奈川県内のみならず、全国の重症児者を持つ親達のためにもなりました。

また厚生労働省の役人からも「省内の勉



役員会の様子

私にとって貴重な情報収集の場であり、学ぶ楽しさを覚える場もある

聞くところによると、あんしんノートの作成は重心の親達の悲願であるとの事。特にパソコンなどの技術的な面で私に出来ることがあれば喜んで協力したいと思つていました。しかしあんしんノートの作成は想像以上に骨の折れる作業で、本業を疎かにしては絶対にいけないと想いました。幸いにも私の勤めている相模原療育園の上司は私の想いに理解がありました。特に理事長である安原は「人に奉仕する事。他人にした親切は、巡りにめぐつて自分に必ず良い事が返つてくる。人のお役に立つ時こそが人生でもつとも尊く、充実している瞬間である」と職員にいつも説いていました。



あんしんノート 施設入所編と在宅編

神奈川支部のホームページから  
無料でダウンロードできます

強会で使用したい」と言われ、その時はみんなで両手を挙げて喜びました。国は私達の活動を意識している。製作過程で色々苦労も多かつたが、とにかく人のお役に立つたい、喜んでもらいたいという一心で一所懸命製作した。今は神奈川支部一同、多くの皆様方にご好評を頂き、とても嬉しく思っています。

## ◎あんしんノート作成の工夫、私の思い



関東・甲信越ブロック大会

善光寺で撮影  
私の大切な人生の先輩方です

あんしんノートの作成にあたっては、全國の様々な団体のあんしんノートを参考にしました。あんしんノートの巻末に参考文献が載っているが、見た数だけで言えば數十冊にのぼります。私達は色々な団体の人達が作つたあんしんノートは、得意分野参考にしようと考えました。特に専門職の人達が作つたあんしんノートは、得意分野

に関してはとても造詣の深い内容になつていて、良い所は全部参考にしました。  
またそれと同時に私達は「見やすさ、書きやすさ、わかりやすさ」を限りなく追求しました。カラーページをふんだんに使い、文字は12フォント以上、所々に備考や特記事項を多く設けたのは私たちのこだわりです。また施設編は60頁、在宅編は70頁にも及ぶ内容ではありますが、記入する皆様への負担をできるだけ抑えるために、チェック式や丸で囲むだけのものを多く採用しました。

記入していく楽しい、気持ちの整理にも繋がる、手前味噌ではありますが私達の作ったあんしんノートは、皆様へのそうした気持ちにも配慮しております。神奈川支部としては、神奈川県内のみならず、全国の重症児者を持つ親達のために真心を込めて製作した一冊ですので、是非ともご活用して頂きたいと思っています。

最後に、あんしんノートの作成は、皆様にとつては悲願であり、夢の実現につなが

つたと思いますが、私にとつては恩返しの一つに過ぎません。実は私は2011年の

東日本大震災で祖父と伯母を亡くしました。父の実家も母の実家も津波で流され、とてもつらい思いをしました。そんな時にいつ

も変わらぬ笑顔で優しく接してくれたのは重症児者である皆様のお子様であり、勇気と希望を与えて下さったのは職員並びに保護者である皆様方だと思つております。

まだまだ守る会では問題や課題が山積しておりますが、これからも皆様の喜ぶ笑顔のために、一緒に汗を流して行動したいと思います。これからも神奈川支部の活動を応援して下さい。今後も温かいご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願ひ致します。